

実習内容
ならびに
スケジュール

医療クオリティマネジメント学

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木	スキルスラボでのシミュレーション実習 口頭試問	高橋 山口	9：00	臨床教育統括センター 1号館4階
金	医療安全管理部業務説明 薬剤部見学 医療倫理多職種カンファレンス VR実習	医療安全管理部員 江口 笹沼 平山	13：00 14：15	共用カンファレンス室③ 1号館4階

◎ 診療科名： 医療クオリティマネジメント学

◎ 責任者氏名： 高橋 敬子 准教授

◎ 指導教員氏名：

江口 明世 講師（医療クオリティマネジメント学）

笹沼 直樹 兼担教員（医療クオリティマネジメント学）

平山 亜矢子 非常勤講師（医療クオリティマネジメント学）

医療安全管理部員、臨床教育統括センター教職員

◎ 実習概要

患者安全の確保の視点を盛り込んだスキルスラボでのシミュレーショントレーニングや口頭試問を行う。

院内での医療安全管理部業務の紹介と実践、薬剤部見学を行う。

実際に直面する医療倫理的な問題に対して多職種カンファレンスを行い、グループ内でディスカッションを行う。

医療現場における多重課題や予測していなかった事態についてVRゴーグルを用いた実習を行う。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・スキルスラボでの課題において安全に配慮した手技ができる。
- ・医療機器、医療材料の安全な扱い方を述べることができる。
- ・特定機能病院の医療安全体制について理解することができる。
- ・院内での患者向け安全配慮を指摘することができる。
- ・薬剤部業務を理解することができる。
- ・医療倫理に関する問題について多職種議論に参加し、自身の意見を述べることができる。

- ・多重課題における優先順位や意思決定について考えることができる。
- ・院内の予期せぬ出来事に対して適切に対処することができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・4年次開講科目「医療安全管理と薬害」での学習内容を復習しておくこと（2時間程度）
- ・プレクリニカル教育で学習したマネキントレーニングを復習しておくこと（30分程度）

◎ 評価方法

（知識、技術、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示）。

	S	A	B	C
知識	医療について説明ができる。	過去の有害事象（医療事故）を契機に導入された我が国の医療安全システムの説明ができる。	インシデントレベルの分類ができる。	インシデントレポートの意義について説明できる。
	幅広い知識を有し、先取り型の医療安全に取り組むことができる。	国家試験レベルの知識は有している。	一部の知識を有しているが、実際の臨床の流れがイメージできていない。	患者安全の確保の意義が理解できておらず、学習態度はどうあるべきとの知識も有していない。 （実習に正当な理由がなく欠席した場合も含む）

技術	課題のみでなく、さらに応用発展した思考での実習ができている。	課題をこなすことができる	課題をこなすことは困難であるが、過大の内容が説明できる。	課題をこなすことができず、内容の説明もできない。
	臨床研修医としても通じる技術を有し、他者に指導や助言ができる。	他者へ指導は困難であるが、student doctor として許容できる技術を有している説明できる。	今後のトレーニングで改善向上が見込まれる。	自分ができない問題点を見いだせない。 (欠席の場合も評価不能としてここに該当する)
態度	指導者のみでなく、グループメンバーに対しても配慮があり、リーダー/フォロワーとして活躍している。	グループ内で協調した態度で実習に臨んでいる。	白衣の汚れや乱れが目立ち、身だしなみも整っていない。	名札を付けていない。実習に対する意欲が見えない。喫煙臭がする。
	実習で接するメディカルスタッフに対しても敬意ある態度で臨んでいる。	挨拶ができる。	挨拶ができない。	正当な理由のない欠席や遅刻。

◎ パフォーマンス評価

木曜午前・金曜午後のすべてを総合して知識・技術・態度の評価を行うため、全過程に出席しなかった者は全項目評価不能（C 判定）として扱う。

◎ 中間評価とフィードバック

木曜午前・金曜午後の各単元の終了時に、その場でフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 木曜日と金曜日で集合場所が異なるため十分に確認すること。
- 集合時間および場所を厳守すること。
- 体調不良でやむなく欠席する場合は、欠席が確定した時点で、医療クオリティマネジメント学秘書室（電話番号 0798-45-6860）へ連絡し欠席を伝えること。
- 体調不良で欠席する場合は、診断書を提出すること。
- 補講は正当な理由で欠席と認めた者で、かつ本人から補講の希望があった場合のみ実施する。
- シミュレーションの時間であっても、病院内施設で行うため、名札、白衣着用のうえ、身だしなみには十分に留意すること。
- 3/20（木）祝日分の再実習は行わず、3/21（金）の実習のみで学生評価を行う。